

鈴鹿市河川防災センター及び鈴鹿川河川緑地（運動施設・公園施設）に関する 指定管理者制度の効果的な運用に向けたサウンディング型市場調査結果の公表

1 サウンディング実施の経緯

これらの施設は、平成18年から指定管理者制度を導入し施設運営を行っており、令和9年度に実施する次期指定管理者の募集に向けて、社会情勢の様々な変動により、市民ニーズや管理運営において活用できるノウハウ、民間事業者の参入意向にも変化が生じていることから、民間事業者からの更なる提案や改良の余地について、直接対話により市場性を確認することを目的とし、サウンディング調査を実施した。

2 サウンディングの参加者数

(1) 現地見学会・事前説明会参加者数

・申込なし

(2) 対話参加者数

1 団体

3 サウンディング結果の概要

項 目	概 要
利用料金制度の導入について	・ 導入について肯定的な意見があった
指定管理期間について	・ 指定管理期間の長期化には物価上昇のリスクが懸念される ・ 指定管理料を物価上昇率などでスライドするなど、指定管理料の随時の見直しがあるなら、指定管理期間の長期化も受けやすい
運動施設の改修について	・ 若者の利用促進のため、多機能芝生広場等の運動施設の改修の提案があった
施設職員の人員数について	・ 現在の人員数と同程度が望ましいと意見があった
利用者増に向けたPRや自主事業について	・ 施設の改修を前提とした事業の提案があったが、市の負担が最低限となる内容であり、既存の状態での自主事業提案はなかった
展示スペースの改修について	・ 体験型の展示について提案があった

4 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、センター及び運動・公園施設の改修等の御提案をいただきました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、当該施設のより効果的な活用に向け、展示スペースや運動・公園施設の改修について検討を行うとともに、利用料金制度の導入、指定管理料の物価上昇への対応や指定管理期間の設定について、より適切な制度運用を行うために整理・検討を進めます。